

# 杏林

KYORIN DAIGAKU SHIMBUN

## 大学新聞

1~4面 特集 杏林大学の就職支援  
学生時代の学びが社会人としての礎をつくる  
跡見 裕学長メッセージ  
教職一体の就職支援/学生の成長段階別プログラム/  
学校の先生になる/企業と連携 地域での学び/  
企業が求める人材

5面 文部科学省支援事業報告  
女性研究者研究活動支援事業ほか

6面 杏林見聞録® 医学部 長谷川浩准教授  
キャンパス紹介 井の頭図書館、学生支援課

7面 卒業生リレー 松尾理恵さん  
在学生リレー 外国語学部 木村南月さん

8面 学部・大学院トピックス  
わたしの書棚から/クラブ紹介

12面 金田一教授の研究室から  
健康ひとくちメモ

### 特集

## 就職

# 一人ひとりの希望を全力支援

"就職"は大学生生活の締めくくりで、社会人としての人生の新たな第一歩です。

杏林大学生の就職率は年々向上し、90%台半ばを超える状況が続いています。教員採用試験は今年度は過去最高の合格者数を実現しました。その背景にあるのは、学生たちの懸命な就活努力とそれをサポートする教員と職員が一体になった支援体制です。

1年生から始まる杏林大学ならではの正課のキャリア教育や、キャリアサポートセンターを中

核に進める多彩なプログラム、これらの取り組みで最も重視しているのは一人ひとりの希望に向き合った face to face の支援です。3年生になってあわてて就職活動を始めるといったことのないよう、悔いすることのない学生生活を送って欲しいと思います。

今号は、杏林大学が展開する5つの支援策、企業が求める人材、卒業生の活躍ぶりなどを特集しました。



外国語学部と総合政策学部の3年生を対象に、キャリアサポートセンターが実施した就職特別対策講座。書類選考のためのエントリーシートの書き方を演習を通して学ぶリクルートスーツ姿の学生たち

## 学生時代の学びが社会人としての礎をつくる



学長  
跡見 裕 (あとみ ひろし)

グローバル化や情報化、少子・高齢化など社会が複雑化し仕事が多様化する中で、今後の社会でやりがいを持って活躍するためには、自分がやりたいことをしっかりと認識し、立場や取り巻く状況を正しく判断し実践していくことが求められます。

そのためには、大学時代に勉学を

通して専門的な知識を身につけると同時に、コミュニケーション能力を養い、留学や部活、読書、実社会での体験など様々な経験を積んで人間的な幅を広げることが必要であり、学生時代の学びや経験がその後の社会人としての基礎になるといってもよいでしょう。

### "なりたい"自分の実現へ 全力でサポート

杏林大学は八王子キャンパスから井の頭キャンパスに移転するにあたり、「新キャンパスとともに生まれ変わる全学の教育方針」を定めました。

その内容は、「君の可能性を見つ

け、未来へつなげよう」をテーマに、(1)“なりたい”自分を見つけ、“なりたい”自分に近づくために、きめ細かいケア、(2)4学部の距離が近づき、広がる学びの道、(3)地域社会でも国際社会でも活躍できる人材の育成、というものです。

この3つの方針の下、たとえば総合政策学部では、2016年度から1年次に専門への導入科目を数多く用意し、これらを広く学ぶうちに“なりたい”自分が見えてきたら2年次からの専門に進むようカリキュラムを整えました。

外国語学部においても留学支援を強化するとともに語学サロンの充実

など課外での学習体制を整備しました。

### 就職"率"から就職"質"へ

学生の皆さんが将来社会に貢献する有為な人材となるために、自分の希望する道でその潜在能力を発揮できるようサポートすることは大学教育の大きな使命の一つです。

教員とキャリアサポートセンターの一体となった取り組みにより、就職率は今では国公立大学や有力私大に迫るまでの実績をあげようになりましたが、“なりたい”自分を実現できるよう、私どもは就職“質”の一層の充実に向けて学生一人ひとりを全力で支援してまいります。

# 教職一体の就職支援 独自のキャリア教育で就職率アップ

## 正課・必修科目の充実 文系学部 3年間で計90コマ

総合政策学部の「ライフ・プランニング」「キャリア開発論」「キャリア開発演習」、外国語学部の「キャリアデザインⅠ～Ⅵ」は正課のキャリア教育科目として必修で開講しています。全学生が3年次修了までに計90コマ受講します。

低学年次に様々な職業や業界を知ることによって選択肢を広げ、どのような人生を送ってきたいかを考え、自分の生涯のキャリアへの意識を高めていきます。

正課のキャリア教育科目でしかも必修でこれだけ揃える大学はめずらしく、また、これらの講座プログラムの組み立てや検討を教員とキャリアサポートセンターが連携して実施していることも大きな特長です。

## 意識が変わる模擬就活

総合政策学部の「就職活動トライアルイベント」と外国語学部の「就職活動シミュレーション」は、3年生全員が年2回体験する、正課のプログラムです。

仮想企業を設定してエントリーシートの提出からSPI試験、面接、グループディ



模擬就職活動でグループディスカッションを行う学生。「模擬就職活動を境に学生の態度はガラッと変わります。SPI試験、面接、グループディスカッションなどは経験を積むことも自信につながります。自分の弱点を知るチャンスと考え、臨んでほしい」就活事情を熟知し、このイベントをサポートするキャリアサポートセンターは話す

スカッションまで、企業の採用選考を本番さながらの環境で模擬体験するもので、全国でも数少ない、非常にユニークな取り組みです。

面接は企業の採用担当者の協力を得て実施します。面接後にその場で行われる評価では、入室からの一連の動作や話し方のチェックのほか、各自の履歴書と照らし合わせながら長所を活かした話のまとめ方などを指導してもらえます。

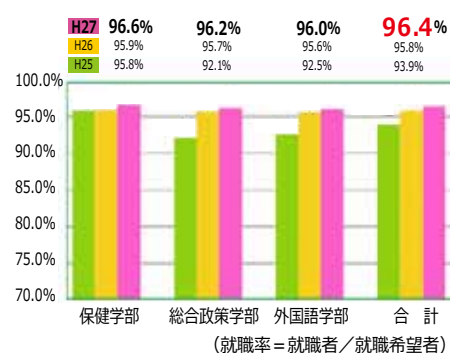
面接は録画して、後から教員やキャリ

アサポートセンターの職員が問題点を学生一人ひとりに指導します。

積極性やコミュニケーション力などを見るグループディスカッションでは、最新の時事問題などもテーマになります。ここでは自分の考えをしっかりと述べるとともに相手の意見にもじっくり耳を傾ける能力を養います。

また、学生が広く社会に関心を持つことの大切さを実感する機会でもあります。

## 就職率 (平成25年度～平成27年度)



## 主な就職先

(順不同)

【総合政策学部】武蔵野銀行、西武信用金庫、SMBC日興証券、三越伊勢丹ホールディングス、成城石井、竹中工務店、三機工業、小田急電鉄、東京メトロ、帝国ホテル、能美防災、総合警備保障、警視庁、神奈川県警 ほか

【外国語学部】JTB関東、JR東海ツアーズ、シェラトン・グランデ・トーキョーベイ・ホテル、シャングリ・ラホテル、ジェイエア、全日本空輸、オンワード樺山、横浜銀行、山梨中央銀行、多摩信用金庫、東京都、羽村市 ほか

【保健学部】杏林大学医学部付属病院、北里大学病院、国立がん研究センター中央病院、都立小児総合医療センター、アイロム、江東微生物研究所、東芝メディカルシステムズ、東京消防庁、横浜市消防局、東京都 ほか

## 求人倍率

■平成27年度求人倍率  
 求人件数 6,499件  
 求人倍率 8.4倍  
 (求人件数/保健・総合政策・外国語学部卒業生数)

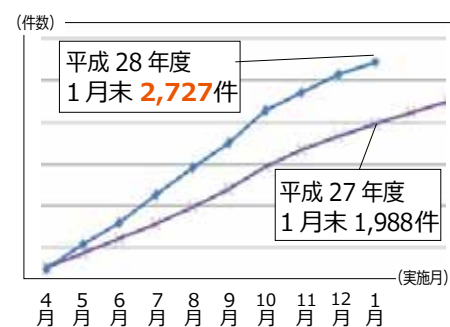
本学卒業生の採用実績の多い企業を中心に、多岐にわたる業界から毎年多くの求人票が送られてきます。

## インターンシップ先

(順不同)

八王子市、羽村市、府中市、三鷹市、武蔵野市、エービーシー商会、SMBC日興証券、NHKグローバルメディアサービス、グランドハイアット東京、サイサン、三機工業、JALスカイ那覇、西武信用金庫、多摩信用金庫、トランスコスモス、メディセオ、ルネサスイーストン、リンレイ ほか

## 学生面談件数 (年度累計)



# 学生の成長段階に応じた支援 1年次から就活に備える

## 多彩なプログラムで就職力向上

学生一人ひとりの進路選択や就職活動をサポートする「就職支援プログラム」。将来への目標意識を高める1年次、業界・業種に関する視野を広げる2年次、そして就職活動の本格的な準備を開始する3年次。

成長段階に応じた力が身につくよう組み立てられた「就職支援プログラム」で将来への一歩を踏み出そう。

### 1年次

エニアグラム (職業適性診断テスト)

企業見学  
女子学生  
キャリアセミナー  
インターンシップ

企業を实地見学し、仕事に対する興味・関心を高める。業種や働き方に関する視野を広げる。

### 2年次

就職ガイダンス  
学内企業説明会  
業界セミナー  
筆記試験対策  
全員面談  
インターンシップ  
就活トライアル  
就職シミュレーション ほか

就活解禁直後の本学独自の説明会。5日間にわたり本学学生の採用実績がある企業を中心に100社以上参加して行われる。

### 3年次

就職活動サークルでは、業界・企業研究のほか、実践形式でマナーやコミュニケーション能力向上の訓練も行う。

### 4年次

就職支援プログラム  
学内企業説明会  
個別支援  
卒業前セミナー

社会人になるにあたって知っておきたい労働法の知識について弁護士から講義を受ける。(卒業直前の2月に実施)

キャリアサポートセンターには企業や各種検定試験に関する情報・資料が揃う

# face to face の相談体制

## 進路や就職活動への不安に個別に対応



面談は予約制。悩みや不安の解消、自己分析や試験対策、エントリーシート等の書き方指導など何でも受け付ける

正課内外の支援に加え、キャリアサポートセンターが重視している一つが個別相談です。

経験豊富な就職指導のスペシャリストが学生の個性を尊重しながら、その時々での不安や悩みに寄り添ってしっかり耳を傾け、的確なアドバイスで疑問や悩みを解決します。

学部ごとに担当者があり、職員一人につき約100名の学生を担当しています。担当者があることで、在学中の継続支援が可能です。

担当者と教員の間では連携体制が確立しているため、学業と就職活動を無理なく進めることができます。

## 内定先輩、キャリアサポーターとして後輩を指導

文系2学部の4年生内定者によるキャリアサポーター制度。内定学生はキャリアサポートセンターと連携して、自らの経験を活かしてキャリア教育科目のアシスタントや独自で企画した支援講座を実施しています。平成28年度は7名の4年生がキャリアサポーターとして活動しています。

低学年次の過ごし方や就職に対する不安、内定を得るまでの道のりなど、生きた情報を伝えてくれる先輩学生のサポート効果は大きいものがあります。

一方、サポーター学生にとっても、学生生活や就職活動を振り返り、その体験を他者に伝えることで、社会人生活に備える自覚が芽生えることも期待で



就職活動の体験を話す4年生の吉田啓熙さん(左)。「自分にしかできないことがあるはず、何でも全力で取り組んで」「就活はゴールではない」…メッセージは後輩たちの心に届いたようだ

きます。サポーターの一人、総合政策学部の時田祥子さんは、「授業では資料の準備をしたり、グループワークに加わったりします。後輩たちの模範となるよう挨拶や話し方、立ち居振る舞いに注意して臨んでいます」と話しています。

# 学校の先生になる 使命感、指導力、児童・生徒への共感力を身につける

## 杏林大学教職課程

平成 28 年度は、保健学部 284 名、総合政策学部 18 名、外国語学部 45 名が教職課程を履修しています。

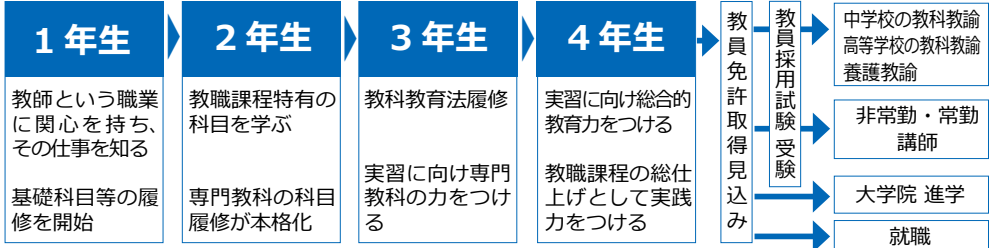
### 取得可能な教員免許状

保健学部	健康福祉学科	養護教諭一種免許状(小中高特支で共通)	養護
	看護学科 看護養護教育学専攻	中学校、高等学校教諭一種免許状	保健
総合政策学部	総合政策学科	養護教諭一種免許状(小中高特支で共通)	養護
	企業経営学科	中学校教諭一種免許状	社会
		高等学校教諭一種免許状	公民
外国語学部	英語学科	中学校、高等学校教諭一種免許状	英語
保健学研究科	保健学専攻	中学校、高等学校教諭専修免許状	保健
		養護教諭専修免許状	養護

現在、教職課程には、科目を担当する専任教員と非常勤講師が 14 名、履修相談や各種実習の手続き、卒業後の連絡窓口などを行う教務スタッフが 3 名います。

教員免許状を取得するためには所要科目の取得、各種実習の実施など満たすべき条件は少なくありませんが、学生が「教員になる」という夢をかなえるべく教職員が連携してサポートしています。

### 教員免許取得までの主な流れ



2月の教職支援講座では、29年度受験予定の3年生を対象に面接練習を実施。面接官役の教員(右)と卒業生(右から2番目)から、学校現場を想定した場面の対応や具体的な指導法など次々に出される質問に答える学生

## 教職課程の取り組み 医療系の大学から総合大学へ発展した杏林大学の強みを活かし、「教員」を育てる

### 教職支援講座

「就職支援」と「教育支援」を目的に開講されている自主参加の講座です。小論文や教員採用試験対策のほか、教員としての資質を磨くことをめざしています。

教職履修者が誰でも受講できるように、昼休みを含む時間割を設定しています。指導するのは校長職経験のある教員などで、講座時間外にも小論文指導等に応じるなど、個別のニーズに対応した指導を行っています。また、学生主体のグループ学習・学び合いで教育法規を集中的に学習するといった機会も設けています。

この講座が確実に学生の成果と結びついていることをうれしく思います。

### 教職履修カルテ

教員・養護教諭としての知識・技能の習得状況を振り返り、その定着を図るた

めの基礎資料が「教職履修カルテ」です。

Web上で閲覧可能なこの〈学習活動の履歴〉を活用することで、学生はいつでも自分の成長や課題を確認することができます。

### 現任教員による「教職実践演習」

4年次の秋学期に開講される「教職実践演習」は、これまでの学びを総括し、実践力を高める科目です。

平成 28 年度は、英語や保健体育を教える現役の中学校教員、養護教諭および学校長を講師に迎えました。「話すスピードや立ち居振る舞い、教師になる上での心構えなどがわかった」「現場の先生の本音が伺えた」など学生には好評です。

### 他学部生と学ぶ「教職実践演習」

「教職実践演習」には教諭用の授業と養護教諭用の授業がありますが、前者では、文系の学部と保健医療系の学

部がある杏林大学の長をを活かして、養護教諭や保健科の教諭、社会科の教諭、英語科の教諭をめざす多様な学生が同じ教室で共に学びます。

専門分野を異にする人との学び合いは、多くの気づきを得て視野を広げる絶好の機会になっています。この恵まれた経験は、実際に教員になってから必ずや生きるはずで

### 現場を知り、実践力や社会性を伸ばすスクールインターンシップ

1年間にわたり小・中学校の現場と関わるのがスクールインターンシップです。

学校活動全般の支援や児童生徒との交流などをおして、学校教育や子どもへの理解を深めます。

平成 28 年度は 56 名の学生が参加し、〈教師候補生〉として貴重な体験をすることができました。次年度以降

### 教員免許取得・教員就職状況

	教員免許取得者	教員就職者
H28年度	58名 ※1	26名 ※2
H27年度	64名	18名
H26年度	55名	23名
H25年度	84名	33名

※1)29年2月現在、※2)29年1月現在の内定者数(既卒生含む)  
教員免許取得者=卒業年度末時 3/31 現在  
教員就職者=卒業翌年度の6/1 現在

は、本学が協定を結ぶ三鷹市や羽村市を中心に、さらに多くの学生にこの機会を提供したいと考えています。

こうした取り組み以外にも、模擬授業や自主学習用に教職課程履修者が専用で使用できる「教職課程演習室」を設け、そこに教育関係の図書をそろえるなど、教員志望の学生のための環境整備に努めています。これらを有効に活用し、教員になるという夢をぜひともかなえてください。

(教職課程委員会委員長/外国語学部教授 齋藤 智志)

# 大学を飛び出せ! 「産学連携プロジェクト」にみる地域社会での学び

学生や大学にとって地域社会は、生きた知識や経験が学べる実践の場です。社会やそこで働く人たちと接点を持つことは自らの将来の方向性を定める一助となることでしょう。

### JR 東日本との協働プロジェクト

昨年 10 月から杏林大学と JR 東日本八王子支社は訪日外国人の多摩エリアへの誘客に向け、協働プロジェクトを開始しています。

参加しているのは総合政策学部の久野ゼミと外国語学部の古本ゼミの学生と、

本学で学んでいる交換留学生と JR の社員の方々です。

これまで実施したことは、八王子、高尾、立川、吉祥寺の各駅を利用する外国人に対して、滞在目的や期間、観光情報の入手法などに関する調査、交換留学生が JR の駅や列車を利用して、外国人の視点から利便性や快適さを検証するモニター調査と調査結果の分析などです。

調査と分析の結果は今後、訪日外国人に対して、多摩エリアの魅力や観光情報を発信して誘客につなげたり、サービス

改善に活かしたりしていきます。

### 仕事の仕方を目の当たりに

調査や会議に参加した総合政策学部 3 年の滝田菜優さんは「座学の知識をゼミ活動とおして社会で試すことができる新しいチャレンジでした。あったらいいな、と思うサービスも、様々な課題やルールをクリアしなければ、実際のところ社会に提供できる形にならないことがわかりました。何より社会人の仕事の速度や時間の管理に刺激を受けました」と話しています。



学生、留学生、JR 社員がグループとなって、JR 八王子駅で行った外国人利用者への聞き取り調査

### キャリアサポートセンター

## 米津課長の 1 週間

キャリアサポートセンター歴 7 年の米津哲也課長。

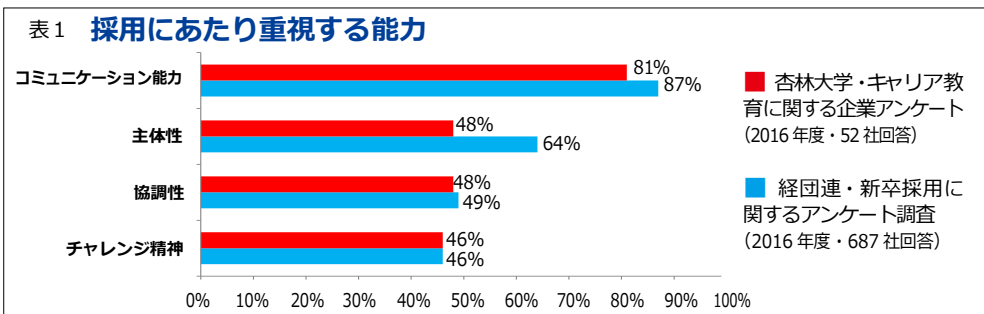
教職員の立場に加え、社会人の先輩として、優しく、時には厳しく学生を見守り続けています。

「学生の成長が自身のモチベーションにつながっています。『すべて学生のため』をモットーに全学生が自ら納得できるキャリアが描けるよう支援しています」と話す米津課長の 1 週間を紙面で再現してみました。

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前	<b>来校企業対応</b> 卒業生の近況を伺う。採用枠も増えそう。(一) 	<b>4年生を引率して新卒募集を続けている企業を訪問</b> 何とかマッチングさせたい... 	<b>学生面談</b> Aさんと10回目の面談。内定まであと一歩か <b>「インターンシップ」授業サポート</b> 	<b>戦術会議</b> センター内で就活学生の情報を共有し、支援策を検討。内定まで支援を続けます <b>内定企業を訪問</b> 渋谷本社を訪ねる。4月から頑張ってもらいたいな~ 	<b>久しぶりに来客予定なし</b> たまった資料を整理。部下たちの報告を聞く 	<b>養護教諭受験対策指導</b> 	<b>友人と酒蔵見学</b> 最近では日本酒の魅力にハマり、飲むだけでなく、酒蔵見学も楽しんでいます 
午後	<b>研究会出席</b> 各大学の就職担当者が一堂に会して最近の就職情報を交換 	<b>就職委員会</b> 月に一度、教員とセンター職員で就職に関する様々な事柄を協議しています <b>SPI 対策講座</b> 18時からの講座に30名参加。皆頑張ってもらいたい 	<b>学内企業説明会</b> 一人でも多くの学生が企業と出会うことを祈って... <b>業界研究セミナー</b> 今回のテーマは「金融」。採用担当の話に30名の学生が耳を傾けた 	<b>企業と大学の情報交換会出席のため出張</b> <b>会終了後、大学時代の友人と久しぶりに会う。懐かしい話で盛り上がる</b> 	<b>「キャリア開発論」授業</b> 卒業生3名を招き、後輩にメッセージを送ってもらおう。みんなの目が輝いていたのが印象的 <b>学外のセミナー出席</b> 	<b>保護者会</b> 現在の就職活動のポイントや、家庭でも学生の精神的な支援にあたってほしいことを伝えました 	<b>夕方より家族との団らん</b> 

# 企業が求める人材 人事担当がみる採用のポイント

企業は採用にあたって何を判断材料にしているのでしょうか。2つの調査データを見ていきましょう。



## 「コミュニケーション能力」がトップ

赤のラインは杏林大学のキャリアサポートセンターが行ったアンケート調査の結果です。採用にあたって重視する項目を3つ選んでもらいました。

「コミュニケーション能力」をあげた企業が81%ありました。「主体性」の48%を大きく引き離しています。

一方、青のラインは経団連（日本経済団体連合会）が行った調査です。

「コミュニケーション能力」は実に87%に上っています。13年連続トップです。

次いで「主体性」「協調性」「チャレンジ精神」が続いていて上位4項目は杏林大学のそれと一致しています。

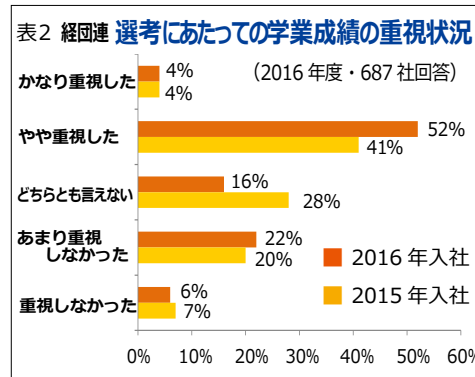
以下、5位 誠実性 44%、6位 ストレス耐性 36%、7位 責任感 24%、8位 論理性 24%、9位 課題解決能力 20%、10位 リーダーシップ 17%の順です。

企業が求める人材像が浮かび上がってきます。

## 学業成績重視の傾向強まる

経団連は、個別に「選考にあたっての学業成績の重視状況」を調査しています。

学業成績を「やや重視した」は51.8%



で、昨年度比で11ポイント増えています。面接やグループディスカッションの内容などとともに、学業成績を採用にあたって有力な判断材料にしていることがわかります。

背景には、業務が多角化し複雑化する中で、企業も学生の「考える力」や「忍耐力」などを一層重視していることがあるようです。

考える力が生まれ、苦手なこともコツコツと地道に取り組む姿勢が見えるのは、日々の勉強であり、その結果が学業成績なのです。

## 「コミュニケーション能力」とは

企業が最も重視する「コミュニケーション能力」とは、どのような能力で、どうすれば身につくものなのでしょうか。

企業ではグループで仕事を進めていきます。上司もいれば後輩もいます。取り引きなどでは必ず相手がいます。世代も様々です。商品売るにも、相手が何を求めているかを素早く察知し、わかりやすく、かつ説得力を持ってプレゼンテーションしなければなりません。

相手の話をしっかり理解する一方、自分の主張を的確に表現できて、円滑に会話を進めることができる、それらの総合力がコミュニケーション能力です。

## 実社会で体験を

コミュニケーション能力をはじめ、企業が求める能力は一朝一夕に備わるものではありません。

企業関係者などは、一つの薦めとして、大学での生活や同世代との交流を充実させるだけにとどまらず、大学から飛び出し、様々な世代の人たちと交流すること

をあげています。

卒業生を始めとした社会人と積極的に接する機会を持つのもよいでしょう。

ボランティアや地域活動を通じてお年寄りの手助けをしたり、地域のスポーツ活動で子どもたちを指導したり……。年齢の異なる人たちと会話をつなぎ、円滑な意思の疎通を図っていくには、相手を気遣い、自分の思いをわかりやすく伝えていくことが求められます。

こうした日々の積み重ねがコミュニケーション力などの向上につながるのです。

## 面接で何を聞かれるか

採用面接でよく出るのが次のような質問です。

「学生時代にこれだけはやりました、と自信を持って言えることは？」

企業は大学での学業以外に、どんな体験をしたのかに関心を持っています。

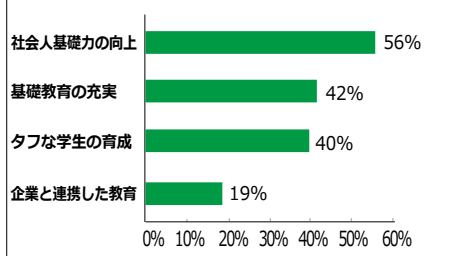
経済同友会の調査(2016年度・872社対象)では、「サークルや体育会等の活動を重視する」が75%、海外経験が50%、アルバイト経験が48%と高い数字を示しています。世代の異なる人たちとふれ合う体験もその一つでしょう。

ただ、企業が求めている回答は体験の豊かさや時間の長さだけではありません。体験で、どんなことに成功し、失敗し、挫折したか。そして、そこから「何を学び取った」のかを見ようとしています。

“学んだこと”を“自分なりの体験”として明確に、具体的に表現できるとよいでしょう。

## 大学教育への期待と注文

表3 杏林大学 キャリア教育に関する企業アンケート (2016年度・52社回答)



企業は学生だけでなく、大学にも期待をかけています。

## 杏林生は「素直で控えめ」?

杏林大学の学生のイメージを聞きました。

優れている点

- 素直 □まじめ □礼儀正しい
- 積極的

劣っている点

- 控えめ □元気がない
- アピール姿勢がない



杏林大学 キャリア教育に関する企業アンケート (2016年度・52社対象)

## 産学連携キャリア支援交換会



企業との最新の情報交換も常に行っています。企業関係者を招いた産学連携キャリア支援交換会もその一つです。

去年の交換会には、およそ170社からこれまでで最も多い290名の人事担当者などが出席し、50名余りの本学関係者と情報を交換しました。中には継続して卒業生を採用している企業も参加しています。信頼できる優良企業との関係を保つことも会の目的の一つです。

## 保護者の皆さんへ

### 就職支援ガイドブック〔保護者版〕

家庭での就活サポートのポイントや保護者のための就職活動Q&Aなどをわかりやすくまとめています。

保護者向けの就職説明会などで配布しています。(B5判22頁)



「大学教育に求めること」という問いへの回答です。

まさに、キャリア教育が求められています。杏林大学が、入学初年度から教職一体で積極的に進めている「キャリア教育」や「就職支援」は、年々強くなるこうした社会や企業の要望に対応したものとと言えます。



## 先輩に聞く キャリアサポートセンター活用事例

### 就職活動サークルで苦手意識克服

むとう みのる

武藤 実

日本郵便株式会社  
千葉県白井郵便局勤務  
(総合政策学部 2016年卒)



コミュニケーションに苦手意識があった私は、「就職活動サークル」に入り、業界研究や企業訪問、卒業生との懇談などをおして就活に備えるとともにコミュニケーション力をあげる訓練をしました。キャリアサポートセンターや仲間と活動する中で苦手意識をなくすことができました。

他にも複数回にわたる面談や相談、提出書類のチェックなどキャリアサポートセンターは親身に私の就活を支えてくれました。エントリーシートの書き方を指導いただく中で、人とかかわる仕事したい気持ちがあることを引き出してくれました。そのおかげで今の自分があると思います。

### 学内企業説明会での出会い

つちだ ゆか

土田 悠佳

明治商工株式会社  
(外国語学部 2015年卒)



建設現場などで使用する機材のリース品を扱う会社で、営業事務をしています。予想以上に多くの方と関わる仕事ですが、忙しくもやりがいのある毎日です。

キャリアサポートセンター主催の学内企業説明会で出会ったのが、今の会社です。説明会に参加するのは大学が信頼する企業ばかり。少人数で企業の方とじっくり話ができるので、社内の雰囲気なども感じることができました。

めざしていた業界の最終面接に落ちて、ひどく落ち込んでいたとき、センターの職員の方は何度も電話で励ましてくれました。だからこそ、諦めず最後まで就活を続けることができ、結果的に良い会社にも出会えたと思います。

## 学生の皆さんへ

就職の内定を早く勝ち取る学生には共通した特長があります。「大学時代に何かに打ち込んで自信を持っている人」です。

このうち、教室派は学業や海外留学、グラウンド派は部活動、学園の外派はボランティアや地域活動等に懸命に取り組んでいます。

その結果、そういう人たちには知識や体験のストックが蓄えられ、社会人として円滑にスタートできる素地が自然に養われるのです。

せっかくの学生生活です。皆さん、積極的に行動して充実した生活を送り、よい思い出を作りましょう。それが就職への近道です。



キャリアサポートセンタースタッフ

## キャリアサポートセンター長 宮崎 則行

また、特に高学年になったら早めに行動を起こしてキャリアサポートセンター(CSC)にどんどん足を運び就職活動のアドバイスを受けてください。CSCの様々な就職支援のプログラムに参加してください。

CSCを利用したほとんどの人が内定を勝ち取っています。利用しない手はありません。

杏林大学は先輩卒業生が健闘していることや教員とCSCの連携がうまく取れていること、キャリア教育が充実していることなどで過去3年の就職率は90%台半ばの高率を確保して全国平均に肉薄しています。

皆さん、CSCは精一杯支援しますので意を強くして就職活動に取り組んで下さい。

キャリアサポートセンター  
井の頭キャンパスC棟1階  
電話 0422-47-8010  
mail recruit@ks.kyorin-u.ac.jp